

IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チーム第8回会合 資料2

IGF2021事前会合向け検討事項

1. 事前イベントに向けてのtodo

1.1. 開催アナウンス

- 10月07日(木) 1回目アナウンス実施
- 10月14日(木) 2回目アナウンス: プログラム概要・話者情報追加【全コマ枠が固まること
が前提】→プログラムの内容については、固まったプログラムから順次でも可
- 10月21日(木) 3回目アナウンス: 開催1週間前のお知らせ+リマインド(適宜追加情報を
連絡)→追加情報の頻度によっては、週一ではなくもっとアナウンスの頻度を増やすか?
- 10月27日(水) & 28日(木) イベント当日
★2回目以降のアナウンスについて、文面のMLでのラストコールは必要か?

1.2. 開催形態

1.2.1. 現地登壇

- 現地とは、JPNICオフィスを想定している。
- 第7回会合では、立石さん担当のプログラム以外は、全パネリスト／登壇者／発表者が
リモートでよいとプログラムタスクサブチームより伺っている。参加者は全てオンライン参
加でコンセンサスが得られたと理解している。
- 本日立石さんより欠席連絡を頂いたが、その際にパネリストが現地登壇を希望するかを
確認したところ、今のところ現地登壇を希望するリクエストは来ていないが、確認する、と
とのことであった。立石さんの返事を待って、スタジオ設営・運営の必要性を判断したい。
- 現地登壇をする場合、JPNIC会議室の定員が5名、撮影・運営サイドが2名必要なので、
パネリストは最大3名までとなり、どんなに無理やり押し込んでもパネリストは4名(運営サ
イド1名が隣の会議室に退避する)までとなるが、ソーシャルディスタンス上好ましくない。
- もし2チーム連続でパネリストが現地登壇をする場合は、次のセッションのパネリストは別
室で待っていただくことになる。

1.2.2. 配信形態

- Zoom WebinarもしくはMeetingで配信可能。
- 以前IGF報告会の際にZoom Webinarを使用したところ、パネリストが手を挙げられない
ので却って議論に参加しにくい、との声を頂いた。そのため、現時点ではZoom Meeting
で設定している。MeetingからWebinarに変換することは参加登録URLを変えずに可能。
逆方向の変換の場合はURLが変わる。
- 最大収容可能参加者数: 100 (Meeting)、500 (Webinar)
 - ただし、上記を超えるようであれば、YouTube Liveで同時に配信することは可能
(遅延が生じるが)

- 質疑応答について
 - Zoom Webinarの場合はQ&A機能または手を挙げて当たった人に質問内容を話してもらう。
 - Zoom Meetingの場合はチャット機能または挙手の上当たった人が質問内容を話してもらう。
- 配信内容は録画し、原則公開とする。

1.2.3. 発表資料について

- 発表資料を投影するかどうか、各プログラム提案者およびパネリストに確認していただく必要がある→プログラムサブチーム
- 発表資料の投影は各パネリストが行うか、運営側で行うかを決める必要がある。
- 資料は特段の要望がない限り、原則公開とする。

1.2.4. 成果物について

- 録画以外に、会合のレポートは必要か？
- レポートを英訳してIGF事務局に提出する必要があるか？